

# 公共政策委員会

ディープラーニング・人工知能を取り巻く社会的・倫理的課題や海外の動向などを議論します。

## 委員長

江間 有沙（理事/東京大学 政策ビジョン研究センター 特任講師）

## 部会・プロジェクト

- ・ 会員向け勉強会開催  
 <開催テーマの例>
  - ・ 著作権法改正によるDLへの影響
  - ・ Partnership on AIでは現在何が議論されているのか
  - ・ GDPRで注目されるプロファイリングのルール形成



# 正会員



PKSHA  
TECHNOLOGY



IGPI Business Analytics  
& Intelligence



FiNC  
Technologies

※設立時会員

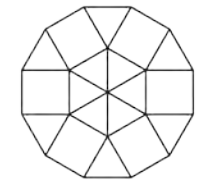
FASHION  
POCKET

DEEPCORE



GRID

HEROZ  
JAPAN



zero ▶ one

GAUSS

# 有識者会員

## 浅川 伸一

東京女子大学  
情報処理センター 博士

## 尾形 哲也

早稲田大学  
基幹理工学部表現工学科 教授

## 巢籠 悠輔

株式会社情報医療 CTO  
/東京大学大学院 工学系研究科  
招聘講師

## 藤吉 弘亘

中部大学 工学部ロボット理工学  
科 教授

## 江間 有沙

東京大学 政策ビジョン  
研究センター 特任講師

## 工藤 郁子

マカイラ株式会社 上席研究員

## 中嶋 浩平

東京大学大学院  
情報理工学系研究科 特任准教授

## 松尾 豊

東京大学大学院工学系研究科  
特任准教授

## 岡谷 貴之

東北大学大学院  
情報科学研究科 教授

## 鮫島 正洋

弁護士法人  
内田・鮫島法律事務所  
代表パートナー弁護士

## 中山 浩太郎

東京大学 松尾研究室 リサーチ  
ディレクター

## 山下 隆義

中部大学 工学部情報工学科 准教  
授

# 贊助會員

**TOYOTA**



*FUTURE*



**YASKAWA**



**NOMURA**



**nico**



**docomo**<sup>NTT</sup>

**JTEKT**



※HP上ロゴ準備中

# 人材育成詳細

# G検定・E資格が目指す人材

## G 検定 ジェネラリスト

ディープラーニングの  
基礎知識を有し、  
適切な活用方針を決定して  
事業応用する能力を持つ人材

## E 資格 エンジニア

ディープラーニングの  
理論を理解し、  
適切な手法を選択して  
実装する能力を持つ人材

# G検定／E資格 試験結果

## G検定

開催回	開催日	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2017	12/16(土)	1,500	1,448	823	56.8%
2018#1	6/16(土)	2,047	1,988	1,136	57.1%
2018#2	11/24(土)	2,745	2,680	1,740	64.9%

のべ申込者6,292 受験者6,116 合格者3,699  
今後、年3回実施

## E資格

開催回	開催日	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2018	9/29(土)	342	337	234	69.4%

今後、年2回実施

# G検定とは？

ディープラーニングを事業に活かすための知識を有しているかを検定する。

## G 検定 ジェネラリスト

ディープラーニングの  
基礎知識を有し、  
適切な活用方針を決定して  
事業応用する能力を持つ人材

- ・ 受験資格  
制限なし
- ・ 実施概要  
試験時間：120分  
知識問題（多肢選択式・220問程度）  
オンライン実施（自宅受験）
- ・ 受験費用  
一般：12,960円（税込）  
学生：5,400円（税込）



# G検定例題 (1)

<問> 「強いAI・弱いAI」に関する説明として最も適切なものを選べ。

- 「強いAI」は、エキスパートシステムと呼ばれ、現在でも広く実用されている。
- AGI (Artificial General Intelligence: 汎用人工知能) と呼ばれるAIは、「強いAI・弱いAI」のどちらかと言えば「強いAI」に近いAIである。
- 「強いAI」が実用化されたことが、第3次人工知能ブームのきっかけである。
- 国際的な画像認識のコンペティションでも、「弱いAI」が人間の識別性能を 超えた例はまだない。

# G検定例題 (2)

<問> 「Faster RCNN」「YOLO」「SSD」の特徴として最も適切なものを選べ。

- これらの手法は、画像を高速に分類するための手法である。
- これらの手法は、画像の分類と領域の切り出しを高速に行う手法である。
- これらの手法は、画像の領域の切り出しを高速に行う手法である。
- 上記3つの選択肢はすべて誤りである。

# G検定例題 (3)

<問> EU一般データ保護規則について、適切でないものを選べ。

- EUに拠点を置かない日本企業であれば、規則に縛られることはない。
- 規則に違反した場合、高額な制裁金が課される可能性がある。
- 規則には、データポータビリティやプロファイリングに関する権利など、新たな個人情報に関する権利が掲げられている。